

第6回 ^{コッブ} COP26が開かれる

イギリス北部のスコットランドにある都市グラスゴーで、10月31日～11月13日にかけて、**国連気候変動枠組み条約締約国会議（COP26）**が開かれました。この会議には、197か国・^{ちいき}地域が参加して、**地球温暖化（気候変動）**の対策について議論されました。

この会議の結果、「グラスゴー気候合意」が採択^{さいたく}されました。

2015年にフランスの首都パリで行われたCOP21で採択された「**パリ協定**」では、世界の平均気温の^{じょうしょう}上昇を、18世紀なかばから19世紀ごろに起こった**産業革命**前から2度未満におさえる目標を定めました。

「グラスゴー気候合意」では、2100年の世界平均気温の上昇を「**1.5度**未満におさえる」ことを目標とするなど、パリ協定でのハードルを上げました。

また、**二酸化炭素**の^{はいしゅつりょう}排出量が多い**石炭火力発電所**（石炭を燃料とする火力発電所）については、「**排出削減対策**をしていない石炭火力の削減に向けた努力を加速する」ことが発表されました。

なお、日本政府は、2030年までに温室効果ガスの^{はいしゅつりょう}排出量を2013年から46%減らす削減目標をかかげています。